

RSNと業務委託契約

21世紀会が依存問題で決議

遊技業界に所属する14団体で組織する「パチンコ・パチスロ産業21世紀会」

(21世紀会)は平成29年11月22日開催の会議において、パチンコ依存問題対策の強化に向け、左記の決議をした。

「遊技業界は、いま、極めて厳しい営業環境下にありますが、業界の総意として、パチンコ依存問題電話相談機関である認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク(通称・RSN)への支援強化を軸に、パチンコ依存問題対策を積極的に進めていくことで、その社会的責任を

果たしていく所存です」が主旨。

決議に至った経緯

平成18年4月に全日遊連の支援により設立されたパチンコ依存問題電話相談機関である認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク(以下、RSN)は、平成23年5月からは、21世紀会14団体の支援に変更して現在に至っている。

平成28年12月のIR推進法施行以後、「ギャンブル等依存症」の問題が社会的に大きくクローズアップされていく中で、21世紀会では、RSNと相談しな

がら、RSNの相談体制の強化機能拡充に向けた対応を検討してきた。RSN相談体制の強化については、R

SN西村代表理事と本年初頭から相談していたが、西村代表理事にご尽力いただき、このほど、11月1日より、16時から22時までの夜間対応が開始されている。

また、沖縄県に所在するRSN本体の相談機能強化に向けては、本年5月からRSNへホール従業員を出向させ、実務的な支援を行っている。

さらに、RSNへの依存問題以外の相

談やクレームに対応するため、平成27年8月に設立された全商協RSN支援室について、これまで経費を全商協が

全額負担していたが、本年4月以降の経費は21世紀会で応分の負担をすることを決定した。

今回の決議では、RSNと交わす業務委託契約の内容を確定するとともに、以上3点の経費に関し、21世紀会各団体の負担金額を決議したものである。この度決議した3点の経費を年間ベースで考えれば合計で4900万円を超える金額になり、平成23年から開始しているRSN本体への支援2800万円と合せると、総額で7700万円を超える金額となる。

協議の中では、今後ますますの業況悪化が予想される中、これらの経費を継続して負担しきれるか懸念される

声もあがつたが、21世紀会として、今回、依存問題対策強化のため、上記の取組みを決議致したところである。

この他にも、現在、ホールに「安心パチ

ンコ・パチスロアドバイザー」を配置していくための講習会を各地で開催している。

これは、お客様に安心して楽しく遊技をしていただきながら、過度な「めり込み」に陥らないための予防対策をホール従業員に担っていただくという新たな取組みであり、RSNへの側面支援ともなっている。これらの取組みをさらに充実させながら、21世紀会は、今後もパチンコ・パチスロ依存問題に真剣に取り組んでいき、業界の活性化に寄与することになる。

【パチンコ・パチスロ産業21世紀会構成団体】

・全日本遊技事業協同組合連合会

・一般社団法人日本遊技関連事業協

・回胴式遊技機商業協同組合

・一般社団法人遊技場自動サービス機

・日本遊技機工業組合

・日本電動式遊技機工業協同組合

・全国遊技機商業協同組合連合会

・同友会

・遊技場自動補給装置工業組合

・遊技場メダル自動補給装置工業会

・一般社団法人日本遊技産業経営者

・一般社団法人パチンコ・チーンスト

・一般社団法人余暇環境整備推進協

・ア協会

・一般社団法人電子認証システム協議会

・一般社団法人プリペイドシステム協

（全14団体）